

平成18年第4回定例会一般質問

平成18年第4回市議会定例会の一般質問が次の日程で行われます。

日時 12月5日(火)、6日(水)、7日(木)、8日(金) いずれも午前10時から

場所 議場(市役所本庁舎4階)

質問内容 下表のとおり

問合先 議会事務局(電話 042-387-9947)

12月5日(火)

氏名	発言の表題
露口哲治	1 小金井市における自転車対策について問う
	(1) 交通ルールの遵守・マナー向上について、広報、教育の徹底について
	(2) 駅周辺の自転車駐車場の確保について(放置自転車対策と改善)。自転車の保有台数、利用状況に合った自転車駐車場の設置を望む
	(3) 小金井市自転車免許制度をつくらないか(自転車の安全運転の徹底)
	(4) 交通安全対策特別交付金は有効利用されているか、自転車対策に反映されているか
	2 高齢者施策について問う
	(1) 小金井市高齢者バス利用について
	(2) 狭隘道路のココバス導入は小型化が一番
	(3) 土地家屋を所有する高齢者に対して、リバースモーゲージ制度(不動産担保による年金制度)を創設しないか
	3 前原町3丁目から貫井大橋間の野川沿いは暗くて危険です。防犯灯設置予算が少ないが、防犯灯の設置は急務
宮下誠	1 地域防災計画の見直しと現実的な展開について
	(1) 震災時の第1アクションを明確に
	(2) 混乱を乗り越えるための事前の準備を
	(3) 1981年5月以前に建築された集合住宅について
	(4) 震災時の道路網確保について
	2 市役所の事務所・人事考課制度等について
	(1) 第2庁舎各フロアにおける机や書棚配置等の再考
	(2) 人事異動を年1回から年2回へ
(3) 人事考課制度の取り組みについて	
(4) 職員の病欠の扱いについて	
宮崎晴光	1 小金井市の2007年問題にどう対応するか
	(1) 小金井市職員大量退職による影響をどうするか
	(2) 地域社会に還ってくる「団塊の世代」への対応について
	(3) 団塊の世代の声を聞くために「こども議会」に倣い「団塊議会」を開かないか
	2 「環境ICカード」を導入してリサイクルと商業活性化を図らないか
	(1) 足立区の実例についてどう考えるか
(2) 小金井市での導入可能性について	
高木真人	1 校庭の芝生化の来年度早期実現に向けて
	(1) 平成17年度の反省を踏まえ、19年度実現への対策は進んでいるのか
	(2) 学校の年間計画を考慮すると、早急に庁内対策チームを組むべきである
	(3) 最重要課題である維持管理方法について
	2 ごみ非常事態宣言実現の具体案はあるのか
	(1) 排出される可燃ごみを資源化する具体案について質問します。ごみゼロ化袋を活用しないか
	(2) 飲食店から出る生ごみを減量する具体案について質問します。食べ残しゼロ化ポイントカードを実施しないか
	(3) シュレッターで出る可燃ごみの資源化について質問します
青木ひかる	1 いじめを防止し、子どもの命を守るために
	(1) 現在の教育委員会の取り組み状況を問う

	(2) 「いじめ緊急対策会議」を開催し、地域ぐるみの取り組みを
	(3) いじめ電話相談の受付時間延長と土日受付を
	(4) スクールカウンセラーを週2回に
	(5) 「チャイルドライン」等、子どもの電話相談事業を行うNPOへの支援を
	(6) 小中学生に「いじめ相談カード」の配布を
紀由紀子	1 市内の小中学校のいじめ根絶の取り組みについて
	(1) いじめの実態を把握しているか
	(2) いじめによる不登校児童への対応はどうしているか
	(3) スクールカウンセラーの各小中学校への配置日を拡充すべき
	(4) いじめ根絶の取り組みを、どうしているか
	2 放課後の子どもの居場所づくりの促進について
	(1) 小金井市の現在の状況はどうなっているか
	(2) 「地域子ども教室」の成果は、どうか
	(3) 平成19年度からの取り組みについて（「放課後子ども教室」）
	3 小学校での英語教育の拡充について
	(1) 現在の実施の状況は、どうか
	(2) 今後の取り組みについて、全小学校への拡充の予定を問う

12月6日（水）

五十嵐京子	1 高齢期を積極的に過ごすために
	(1) 介護予防事業の現状と課題について
	(2) 介護をする家族の心理的負担軽減のために集う場づくりをしないか
	(3) 市川市の「心の遺言ノート」を小金井でも実施しないか
村山秀貴	1 マンションへ補助制度の活用を
	(1) 東京都の都市居住再生促進事業（マンション建替えタイプ）について
	(2) 東京都マンション耐震診断助成事業について
	2 学校事務の非常勤化の推進を求める
	(1) 小金井市の学校事務における現状の職員体制は
	(2) 他市は学校事務について、どのように対応しているか
	(3) 新たに生まれた職員は他の部署へ配置すべき
伊藤隆文	1 いじめ等を根絶するための心の教育を
	(1) 教育委員会の役割は何か
	(2) 学校や教師の対応について問う
	(3) 社会のルール等について学校や家庭の取り組みは
	(4) 子ほめ条例の制度はどうか
関根優司	1 東京都が来年10月から「義務教育就学児医療費助成事業」を行うことにあわせ、小金井でも就学児への無料化実現を検討せよ
	2 陣屋橋の清掃と愛犬家のマナー向上キャンペーンを
	(1) 緑町と桜町の境界の道路が愛犬家の散歩道になっているが、必ずしもマナーの良い愛犬家だけではないようです。獣医師会や小金井公園（都の管理事務所）などと連携して、愛犬家のマナー向上施策の推進を
	(2) 陣屋橋の欄干の足元が、小金井公園に散歩に向かう犬の小用の場所になり変色している。地域のボランティアも限界。小金井の歴史的文化遺産ともいえる陣屋橋をきれいにし、また、上水通り沿いの歩道橋も変色している。年間100万人が訪れる小金井公園の美化対策として実効性あるものを考えるべき
	3 福祉と緑のまちづくりに合わせた商業振興を
	(1) 武蔵小金井商店街で井戸を掘り、地蔵をつくった。ウォーキングのまちにしたいという新聞報道もある。来訪者のために三つの都立公園を結ぶ遊歩道を作ってはどうか。遊歩道の維持管理はボランティアを募ればお金をかけなくても出来るのではないか
	(2) 新小金井街道を、各市に「道の駅」のような商業施設が集中するポイントになるゾーンをいくつかつくれるか。駐車場問題もそういうなかで解決できないか
	(3) 駅前に高齢者などの乗降スペースが無い。計画もされていない。駅をバス・タクシーの始終着点にしないで市民のためのスペースを確保すべき

	(4) 駐輪場問題は深刻。現在の計画では問題解決の展望が無い。自動車・バス・電車・自転車の総合的交通政策をもって、便利で公害の無い交通手段を充実せよ。
	(5) さくらポイントカードを社協・成人式・国保などで活用せよ
	(6) 補助金は原資の二分の一という規定を変えて、施策によって割合を変え、使い勝手の良いものにしたらどうか
水上洋志	1 医療制度改革法による市民への影響と健康づくり事業について問う
	(1) 医療制度改革法による影響について
	(2) 健康づくりの事業を旺盛に行わないか
	2 利用しやすい駐輪場の実現を求める
	(1) 機械化された駐輪場に寄せられる市民の改善の要望について
	(2) 不法駐輪対策について
	(3) 駐輪場の拡充を
篠原ひろし	1 東京国際スリーデーマーチに一層力を注ぎましょう
	(1) 毎年行われる催事なので当市内の実行委員会組織を確立する
	(2) 主催市として実施に関わる経費をもっと予算化すべき
	(3) この催しを通して「歩く」こと健康効果を市民にPRしよう
	2 新技術の地中化方式で電線類地中化を推進しては
	(1) 新方式活用を検討して車・歩行者の多い場所から地中化を
	(2) 北大通りなど狭い歩道の中央に電柱があるのは無策と言える
	(3) まずは実施地域例を視察に行ってみたら良いと思うが

12月7日(木)

遠藤百合子	1 「ごみ非常事態宣言」を受け、燃やすごみの減量を
	(1) 燃やすごみの半数を占める生ごみの処理に関し、肥料や堆肥にする目途での減量施策と並行し、酵素を使用した分解消滅型の方法を取り入れ、その利用を率先して市民にアピールしていかないか
	(2) 生ごみを排出する大型事業者に自己処理をするよう呼びかけないか
	2 子どもを守り、地域の人と人が対話の多くとれる街づくりを
	(1) 子どもたちを含めた地域安全のために「安心安全メール配信システム」導入の見通しはいかに
	(2) 登下校時での学童監視員の方に、防災交通課で貸与している緑のジャケットを着て仕事をしてもらうようお願いできないか
和田茂雄	1 武蔵小金井南口再開発にカーシェアリングを導入してはどうか
	(1) 駅周辺の駐車場問題の解消と交通渋滞対策として
	(2) CO2、排出ガスの削減といった地球環境対策として
	(3) 快適な市民生活の利便性向上のために
	2 庁内情報システムの統合化の後に来るものは何か
	(1) 統合化による効果は何か
	(2) GIS(地理情報)を活用し、市民に身近な情報を提供すべきだ
	(3) 近隣市との情報デバインドを克服できるか
渡辺大三	1 焼却場候補地選定問題等について問う
	(1) 庁内検討委員会と民間コンサルによる候補地選定等について
	(2) 第2ブロックで処理できない13,000トンについて
	2 市長の高額退職金問題について問う
	(1) 多摩各市の市長は、現任期末に、どのような支給率でいくらの退職金を受け取るのか
	(2) 政策的な「返上」、「削減」の状況は
	(3) 稲葉市長は来年任期切れとなるが、自身の退職金は満額受給する予定か、一定の措置をするのか
	3 47都道府県のブースが出るイベントの実施を
漢人明子	1 ごみ非常事態宣言と小金井市役所のごみの現状について
	(1) 「小金井市施設ごみ半減運動」スタートから3年の評価
	(2) 市内最大の大規模事業所としての市役所の責任は果たされているか
	(3) 非常事態宣言を受けた具体的な取り組みの強化を図るべきではないか
	2 児童・生徒の定期健康診断について
	(1) 定期健康診断疾病異常調査票はどのように生かされてきたか
	(2) 小金井市の児童・生徒の健康特性はどのようなものか
板倉真也	1 障害福祉サービスの負担軽減策の拡充を

(1) 自立支援法施行による市負担額は、法施行前と比較して、どのようになつたのか。および、法施行後、利用者負担軽減、事業者補助にどれくらい財源を新たに充てたのか（10月からの事業を含む）
(2) この間の利用者、事業者からの意見、要望に対する見解をうかがう
(3) 地域生活支援事業スタートに対する実態調査は、いつ行なうのか。および、利用者、事業者へのアンケート調査を行ない、要求把握を行なうべき
(4) 6月定例会での陳情書の採択および利用者、事業者の意見をふまえ、今後どのような対策をとるのか。その時期はいつ頃か。および、地域生活支援事業のメニューの拡大を
(5) 利用者負担増、事業者の存続をおびやかす自立支援法に対する市長の見解を問う
2 枠配分予算方式の導入をやめよ
(1) 枠配分方式を導入する理由と導入計画を問う
(2) 来年度試行的に行なわれる教育部と企画財政部に対して、どのような指示をしているのか。そのことから、両部局の枠配分方式が充てられる経費の来年度予算額は、今年度とくらべて増えるのか減るのか。枠配分方式導入に対する教育部と企画財政部の見解をうかがう
(3) 投資的経費、政策的経費を枠配分方式に入れなかった理由は何故か
(4) 行政運営上必須の経費であり、毎年度継続して経常的に支出する経費を抑制することになる枠配分予算方式は撤回せよ

12月8日（金）

中根三枝	1 小金井市生涯学習推進計画の進捗状況
	(1) 平成16年度から5年計画で推進されている。ちょうど今年度は中間年だが計画以前と現在とでは目に見えてどう違って来たか
	(2) 「小金井市まなびあい出前講座」は平成17年度は63講座あったが各々出前は何回行われたか
	(3) 今後の改善点は
	2 本町5丁目教職員住宅について
	(1) 北西棟は現在空家になっているが今後の計画は
	(2) その棟と上之原公園間空地の所有者は誰か
	(3) 投げ捨てられるごみの処理は誰がすべきか
	(4) 付属施設、集会所は共同購入品等の受け渡し基地として使用できるか。他住民が含まれる場合は
	斎藤康夫
(1) 新たなビジネスの創出は小金井市の活性化につながる	
(2) 先進他市の事例を研究すべきである	
(3) 地域インキュベーション設立について	
(4) 市立SOHOセンター設立を	
2 ユニバーサルデザイン条例を制定すべきである	
(1) 浜松市のユニバーサルデザイン条例から学ぶ	
(2) 市民参加による条例制定を	
(3) 市民参加による条例運営を	
(4) ユニバーサルデザインの理念を小中学校で学ばせるべきである	
(5) ユニバーサルデザインにより駅周辺の整備を	
森戸洋子	1 燃やすごみ問題について再び問う
	(1) この間の経緯について
	(2) 国分寺市との共同処理のあり方について
	(3) 市民の参加と合意をどのようにすすめる、新焼却場を建設するのか
	(4) ごみ処理基本計画の見直しを
	2 高齢者の福祉サービスの充実を
	(1) 要支援など軽度介護認定者のサービス利用を拡充しないかー電動ベッド・車イス・ホームヘルプサービスなど
	(2) 介護認定者の確定申告における障害者控除等のPRを
	(3) 療養型病床群の廃止について、市内での影響とその対策を問う
	3 子どものいじめ問題の真の解決策を
	(1) この間のいじめ問題に対する対応は
	(2) 来年から始まるようとしている全国一斉学力テストについて
	(3) 少人数学級の実現について

野見山修吉	1 特定高齢者の把握と介護予防事業の今後について
	(1) 特定高齢者の把握が予測値より低かったが、旧来の把握方法のような柔軟性にかけていたのではないかと。その関係で認知症の把握はどうか
	(2) 介護予防事業について特定高齢者から一般高齢者への予算上の変化は
	2 児童福祉審議会の答申と今後の対応について
	(1) 答申は尊重すべきと考えるが、答申への基本的姿勢は
	(2) 行革大綱の変更・整理が必要ではないのか
	3 公共施設のバリアフリー化の促進について
	(1) バリアフリー化の計画的推進の方針はどうなっているのか
	(2) とりわけ学校の大規模改修が耐震補強重視に変えられる中で、バリアフリー化はどのように検討されているのか
小山美香	1 小金井市の景観を保全するために
	(1) 東京都は景観条例の改正を行ったが、小金井市の景観を保全するためには独自の規制が必要である。景観保全に向けた、市の見解を問う
	(2) 小金井市も景観行政団体になる意思表示をすべきである。早急に取り組まないか
	2 市民が身近な緑を育てる「里親」をつくらないか
	(1) 身近にある公共の場（街路や歩道の緑地帯、歩道に面する公共空地など）に緑を増やすため、ボランティアの登録制度による管理のしくみをつくらないか
	3 人口の減少を見据えたまちづくりを進めよ
	(1) 人口の減少が予測される中、住宅建設についての市の考え方を問う
	(2) 住宅の供給過剰を防ぐための対策を考えているか
	(3) 開発のコントロールが必要ではないか
	(4) 地区計画を含めたまちづくりへの市民参画の周知方法は